

あす熊本入り

水俣病の中央視察団

水俣病の現地視察のため、衆議院の農林水産、社会労働、商工各委員会の委員八人と県選出国會議員三人、関係各省の課長四人は一日来熊、二、三日の両日現地をみるが、これに先立って寺本知事も三十一日就任後はじめて現地を視察する。

中央視察団の日程は、一日午後三時から県議会本会議場で県議会、県当局、熊大、県漁連と合同打合わせ会をひらいたあと自動車で水俣市に向う予定。二日は水俣市役所、同市立病院水俣病専用病棟、湯室部落を視察、湯室から船で葦北郡津奈木村を回り、三日は新日窒水俣工場などを視察する。

また知事は三十一日、葦北郡の出

浦、葦北、湯浦、津奈木の各漁協を訪れ、水俣市役所、市立病院、工場、湯室、百間港などを視る。

顔ぶれの一部変更

一日午後熊本入りする国会の水俣病現地調査団一行のうちに一部変更があった。農林水産委員のうち高石氏（自）が取り止め、代りに社労委に堤ツルヨ（社ク・滋賀）が加わり、未定だった商工委の一人は松平忠久（社・長野2）に決まった。また関係省庁で通産省の藤岡工業用水課長に代って左近岡課長補正となり、高田化学肥料第二課長と衆院農林水産委調査室の喜田事務官が加わった。（東京支社）